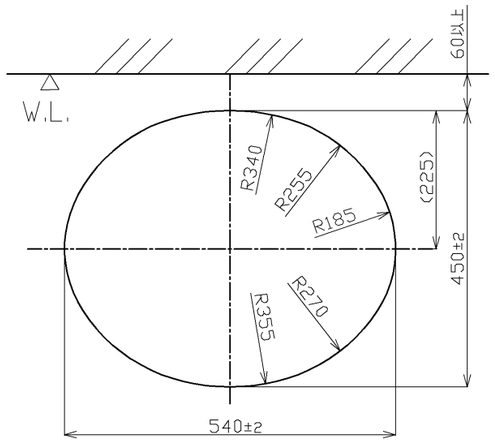


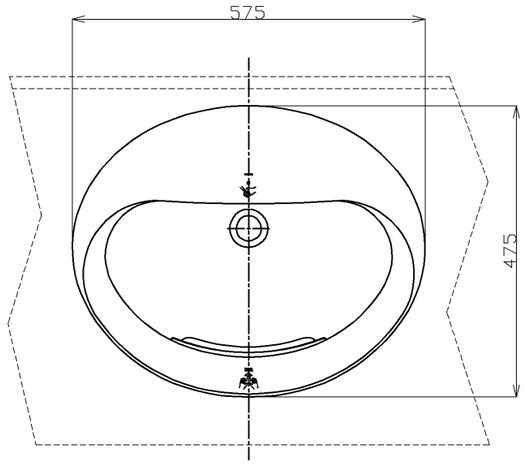
カウンター切込穴位置・形状

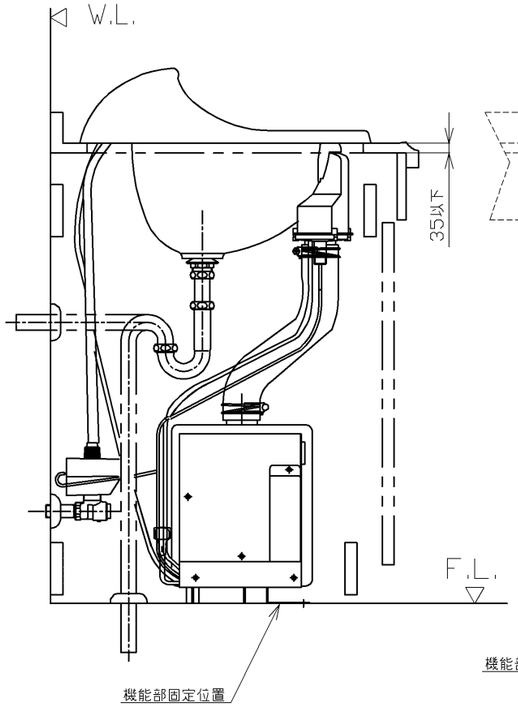
※型紙が必要な場合はカタログ「No4053」で手配してください。

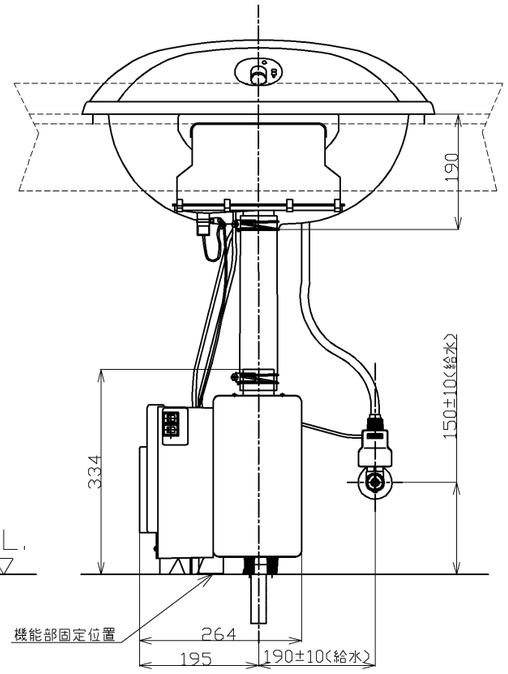
<参考データ>

運転モード	風量 強	風量 弱
風速 ※1	約100m/秒	約70m/秒
乾燥時間 ※2	約5~9秒	約7~10秒
運転音 ※3	約65dB	約60dB

※1 吹き出し部直下での測定値。
※2 当社基準による乾燥時間の目安。
※3 無響音室での測定値(前方2m、左右2mの平均値)。







注記

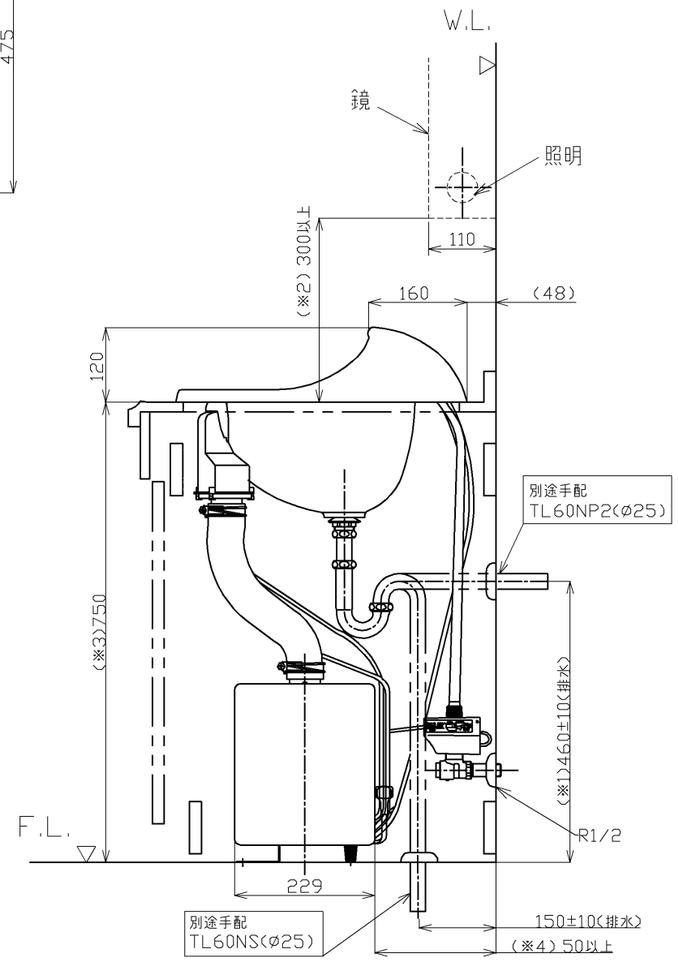
(※1)カウンター高さ750mmでの寸法。

(※2)鏡裏に間接照明が入る場合、清掃性及び、ボウル内照度の観点から鏡の底面をカウンター天面から300mm以上で設置してください。

(※3)カウンター高さ最小650mmでのセットが可能です。
カウンター高さが650mm~700mmの場合は、排水金具と干渉しないように、機能部の置く向きを変えてください。 (ページ2/3参照)

(※4)機能部を奥へ移動する際は、メンテナンスのため壁から50mm以上離して配置してください。ハーネスの届く範囲まで移動可能です。

(※5)電気温水器とセットする場合は、吐水量が少なくなる事があります。
(対応方法はページ3/3参照)



品番		TYL102
タイプ		単水栓(吐水・温風)
洗面器		陶器(セルフリミングタイプ)
洗面器カラー		ホワイト(#NW1)
外形寸法(mm)		洗面器部・・・575(幅)x475(奥行) 機能部・・・264(幅)x229(奥行)x334(高さ)
電源		AC100V 50/60Hz
定格消費電力		1160W(約12A)
電源コード		プラグ付電源コード式(有効長さ1.8m)
給水圧力(※5)		最低必要水圧(流動時)・・・0.05MPa 最高水圧(静止時)・・・0.75MPa
給水接続		壁給水(R1/2)
排水接続		φ25mm黄銅管(壁排水・床排水) ※排水金具は別途手配
使用温度範囲		+1~+40℃
乾燥モード		風量「強/弱」、ヒーター「ON/OFF」の4段階切替え
吐水(※5)	吐水形態	泡まつ
	吐水温度	入水温に依存
	流量調節	定流量弁(5L/分用)により上限カット。 必要に応じ止水栓にて流量調節可能。 最大連続運転時間約1分。
洗面器容量		約14L(見掛け容量、水溜めは出来ません)
質量		洗面器部約11Kg、機能部約5.0Kg

<施工時のご注意>

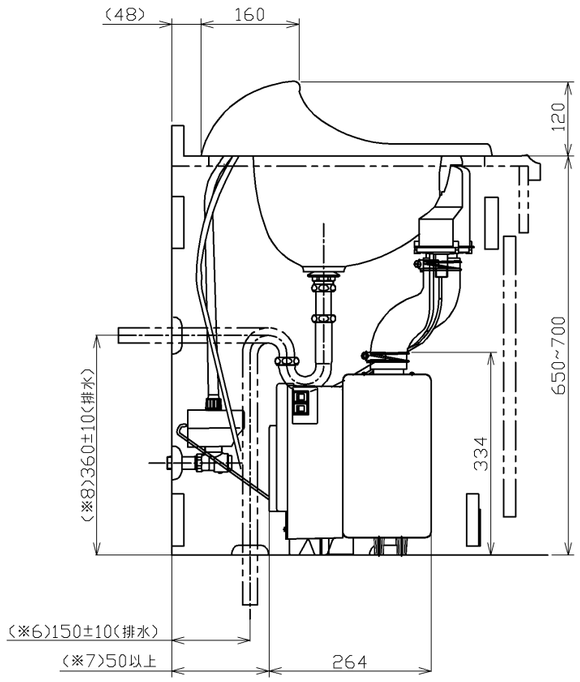
1.屋外や浴室など湿気が多い場所に設置しない。
火災、感電の原因になります。
2.腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中に設置しない。
火災の原因になります。
3.電源コンセントは、設置状態で水がかからない位置に設置する。
火災の原因になります。
4.粉塵の多い場所に設置しない。火災や感電の原因になります。
5.塩害地域に設置しないでください。感電の原因になります。
6.電気部品や機能部に水をかけない。火災、感電の原因になります。
7.必ず定格15A・AC100Vのコンセントを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し、火災の原因になります。
8.電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う。
不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。
9.電源には漏電遮断器を取り付ける。故障や漏電の際に、感電する原因になります。
10.引火性のあるものを近づけて使用しない。(灯油、ガソリン、シンナー、スプレー缶など)爆発や火災の原因になります。
11.船舶・車輌などの一般建物以外へ設置しない。著しく商品寿命を損なう原因になります。
12.配管内の水が凍結するような場所では使用しない。
器具が破損し、水漏れのため建物に損害を与える原因になります。
13.給水は上水道に接続して使用する。
中水道(再生水)や異物を多く含む水を使用し、飲用すると体調を損ねたり、器具の破損の原因になります。
14.オートボウルは吹き出し口への水浸入による装置の破損を防ぐため、水をためることができません。
15.洗面器とカウンターとの隙間コーキング(メジシール)は別途工事が必要です。
16.床がタイルやコンクリートの場合は機能部の床固定用として、木ねじ(φ4.5×38)用樹脂プラグを商品1台につき2個、別手配してください。

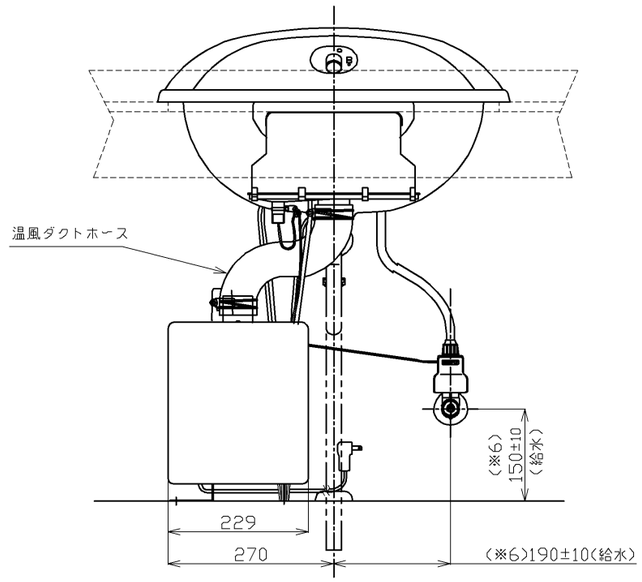
※ 機能部の移動範囲についてはページ2/3を参照してください。

水道法適合品

TOTO			単位 mm	名称 自動洗面器オートボウル
製図 谷井	検図 渡辺 大原	日付 20.5.28	尺度 1:10	品番 TYL102
備考 単水栓(吐水・温風)		ページ 1/3		

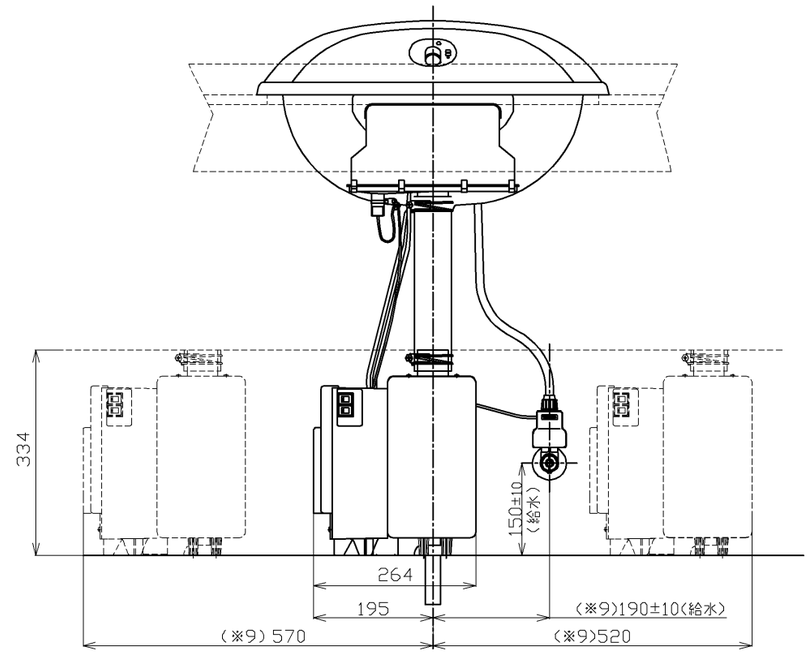
A3





カウンター高さが低い場合のセット状態

(カウンター高さ650mm~700mmの場合)



機能部の移動範囲

(カウンター高さ750mmの場合)

<注意>

標準セット状態とは機能部を置く向きが異なります。(排水管干渉回避のため)
カウンター高さを図示寸法以下にすると温風ダクトホースが取付られません。

(※6)この寸法は基準寸法です。
(※7)機能部を奥へ移動する際はメンテナンスのため壁から50mm以上離して配置してください。
ハーネスの届く範囲まで移動可能です。
(※8)カウンター高さ650mmでの寸法。

(※9)機能部を移動させる際は、メンテナンスのため
止水栓が隠れないよう配置してください。

※ 基本仕様・設置上の注意についてはページ1/3を参照してください。

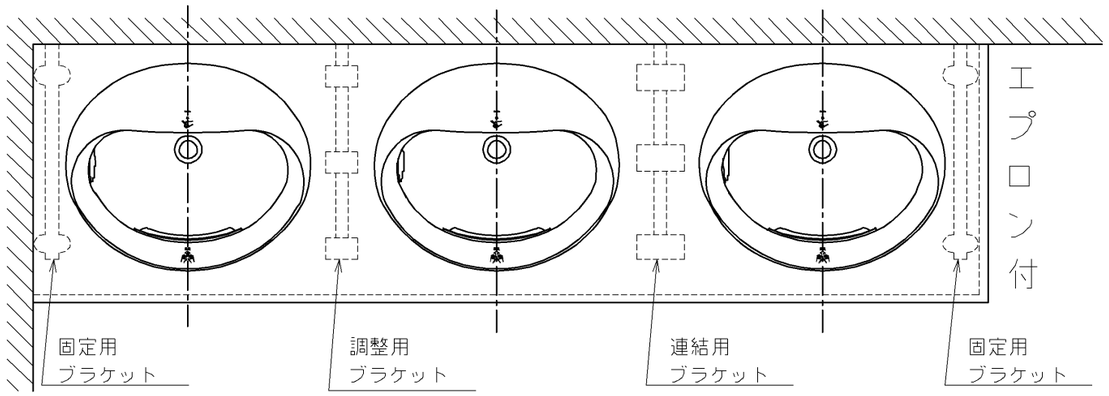
水道法適合品

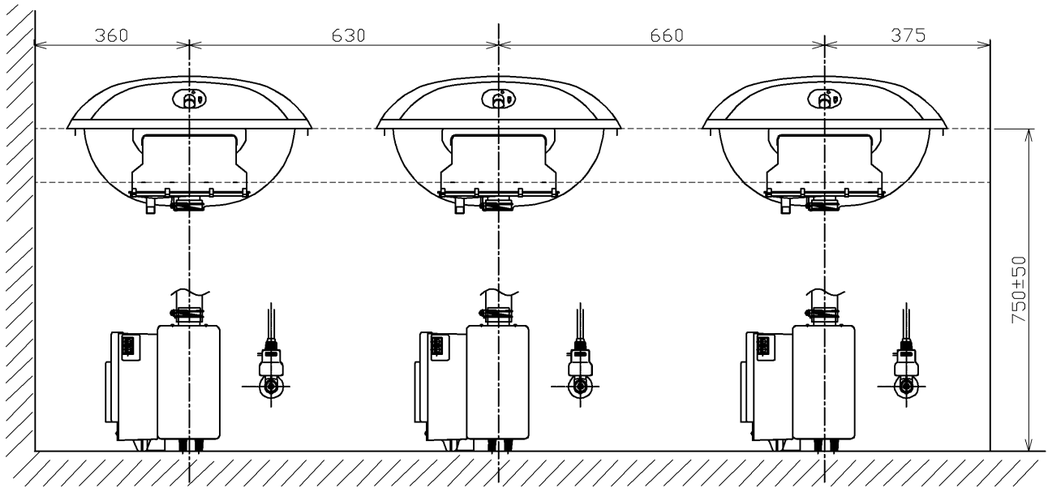
TOTO			単位 mm	名称 自動洗面器オートボウル
製図 谷井	検図 渡辺 大原	日付 20.5.28	尺度 1:10	品番 TYL102
備考 単水栓 (吐水・温風)		ページ 2/3		

A3

洗面器取付間隔（最小寸法）

※図はブラケット式に自動洗面器のみセットする場合





電気温水器とセットする場合に必要な部材（別途手配）

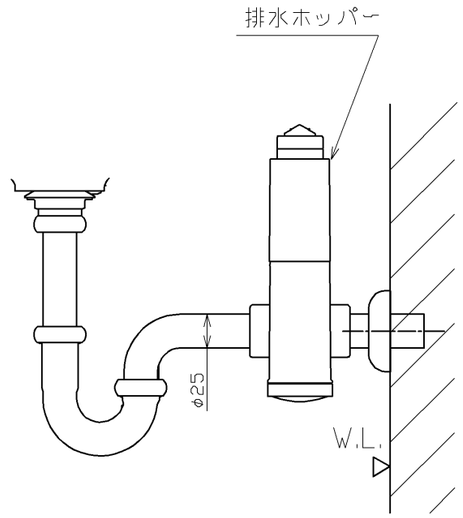
※電気温水器別必要部材一覧

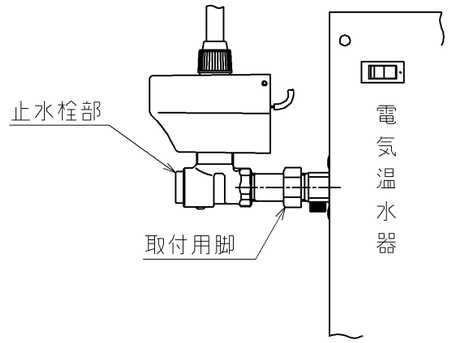
電気温水器種類	固定金具		φ25対応用排水ホッパー
	電気温水器本体へ固定の場合	壁固定の場合	
REW-D	RHE654	−	RHE97H-25

※電気温水器設置に必要な洗面器間隔は、電気温水器のサイズによって異なります。設計施工資料集をご覧ください。

φ25対応用排水ホッパー：RHE97H-25

取付用脚：RHE654（電気温水器本体固定の場合）





電気温水器とセット時の注意

吐水量が少ない場合、止水栓部の定流量弁を取り外してください。
吐水量が多い場合は、電気温水器側の止水栓で調整してください。

水道法適合品

TOTO		単位 mm	名称 自動洗面器オートボウル
製図 谷井	検図 渡辺 大原	日付 20.5.28	尺度 フリー
備考 単水栓（吐水・温風）		ページ 3/3	品番 TYL102

A3